縄文時代の遺物（2）

192
231
232
233
234
237
238
239
296
297
254
255
300
301
303
304
194

縄文時代の遺物（3）

弥生・古墳時代，古代の遺物

360
358

375

380

385

394

395

400
401
402
403
404
405
407
410
411
412

413
414
415

421

427

古代・中世の遺物

434
433
432

441
440

443
446

452
451

462

470表
499表

469
465
467

470裏
499裏

中世の遺物（1）

493
471
477
480
478
479

517
514
515
516
511
512
513

518
526
525
524
520
521
523
519
522

531
551
552
555
561

539
540
541

578

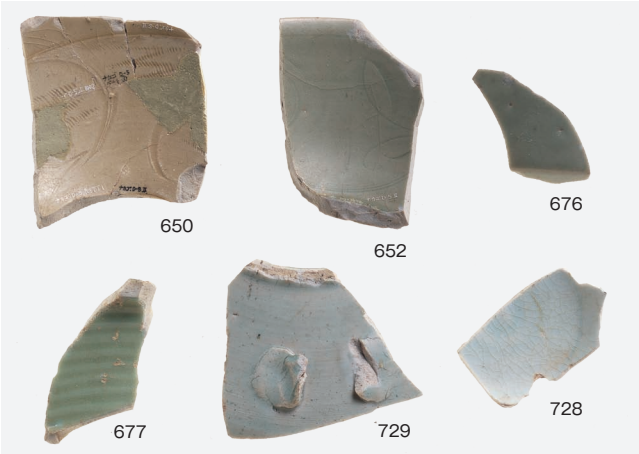
595

中世の遺物（2）

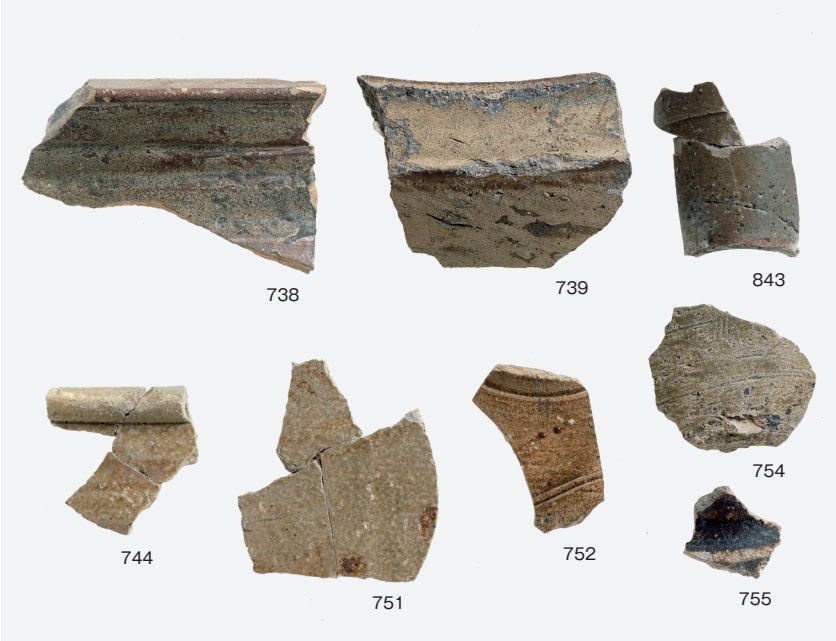
581
576
597
604
607

628
627
626

629
632
636
642
641


650
652
676
677
729
728

655
670
675
717
736


738
739
843
744
751
752
754
755

722

624表
625表
624裏
625裏

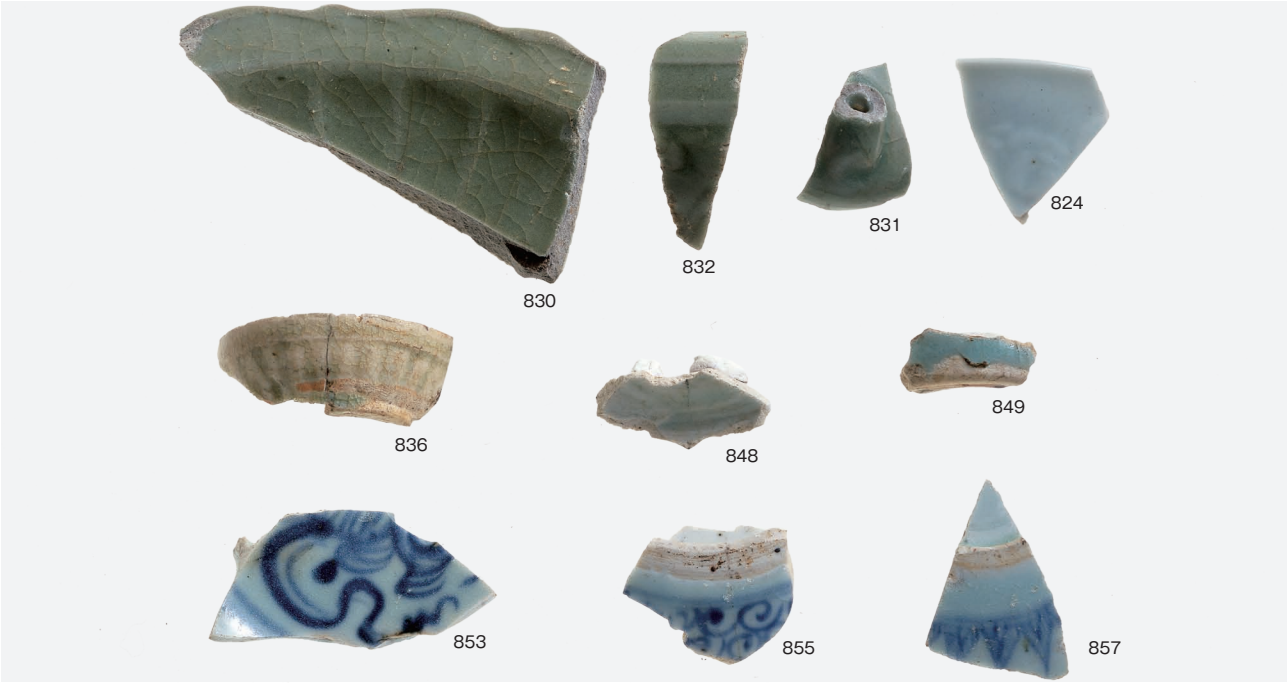
中世の遺物（3）

759
774
776
777
775
779
758
761
773
778

874
873
644

794
792
796
795

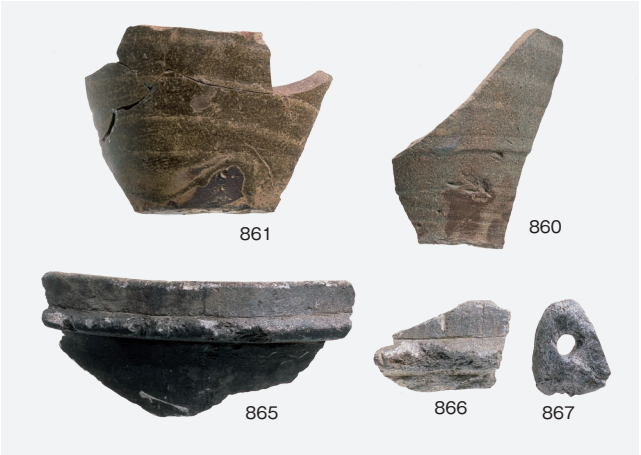
814
812
815
813


830
832
831
824
836
848
849
853
855
857

中世の遺物（4）

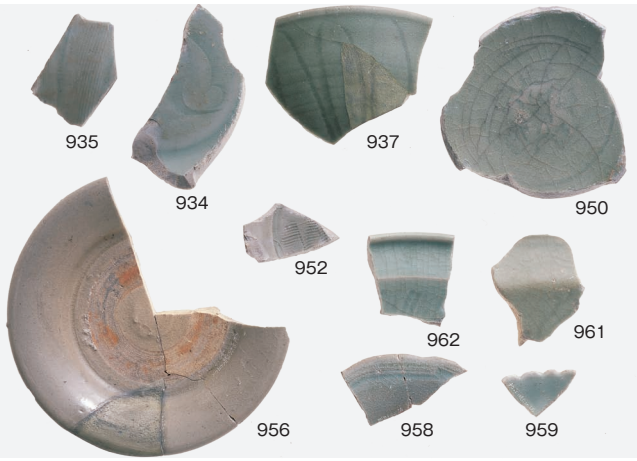
921
922
920
870
871
869
868

907
906
908
904
911


861
860
865
866
867

977
976
975

879
927
891
893
898
892


935
937
934
950
952
962
961
956
958
959

965
971
994

中世の遺物（5）

内面
外面
981
982
984
987
988
990
1010
1009
1011
1012
1022
1018
1023
1019
1024
1027
1031
1028
1029
1030
1035
1026
780
932
933
1038
1036
1047
1041
1046
1044
1054

中世・近世の遺物

あとがき

報告書作成の最中の平成25年11月17日，感応禅寺で三十七世から三十八世和尚への晋山式が行われた。感応禅寺は，栄西禅師創建の我が国最古の禅寺であるとともに，島津初代忠久から五代貞久の御廟所を祀る寺でもある。

祥三和尚の「山門之偈」で始まり，

鎮國山歴　鎮國の山歴
八百余秋　八百余秋
元無関鎖　元と関鎖無し
樹下悠悠　樹下悠悠

島津の紋所の法衣を纏い，仏祖の御恩と仏法の流布を誓いする「晋山之偈」の

名郷出水碧天清　名郷出水碧天清く
感應禪林響鶴蹄　感応禅林鶴啼き響く
祖塔真前承法徳　祖塔真前法徳をつぎ
乾坤独立一心平　乾坤に独立して一心平かなりは，脳幹を刺激しその凜とした空間は，最古の禅寺に触れ，島津氏発祥の地を彷彿とさせるに充分であった。

発掘調査では，この時期の龍首水注や輸入陶磁器が発見され，堀や溝跡等屋形群を彷彿させる遺構や造成の痕跡も発見されたが，悔しいかな時の流れは建物の基盤を大きく削平し，栄枯衰勢を直視することとなった。

冬の鶴はこの地の優しさを知り，飛来し続けている。この地に，鎌倉武士団が闊歩する姿を描ききれなかったが，機会あるごとに追い続けることとなる。

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（1）
南九州西回り自動車道建設（出水阿久根道路）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

中郡遺跡群

発行年月日　2014年3月

編集・発行　鹿児島県教育委員会
公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター
〒899－4318　鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森2番1号
TEL　0995-70-0574　FAX　0995-70-0576

印　　刷　有限会社　国分新生社印刷
〒899－4301　鹿児島県霧島市国分重久627-1
TEL　0995-45-4880　FAX　0995-45-6979